

行政改革の重要課題事業一覧【第2弾】

No	事業名／担当課	(1) 現状 (2) 課題	(3) 改善策(例) (4) 求める効果
3	放課後児童健全育成事業の民間活用及び類似事業との整理  【担当課】 ・子ども未来課	(1) 現状 ・放課後の児童の居場所の需要拡大 児童クラブ・学童保育の定員 (10年で3.2倍) H22度 275人 → R1度 903人  (2) 課題 ・受入の拡充や時間延長などニーズの増大・多様化 ・受入の拡充に伴う場所の確保及び指導員の確保が困難 ・放課後子ども教室について、本市においては余裕教室が不十分で、かつ利用者の3割が、本来の体験・学習ではなく、預かり目的で利用	(3) 改善策(例) ・民間活用(アウトソーシングの推進) 直接雇用の非正規職員による運営から、民間事業者の運営への転換を図る。(例):まずは新たに整備する場合を対象に、公共施設における運営であれば指定管理、民間施設における運営であれば事業委託化を検討する。 ・学童保育について、父母会以外の運営形態を選択肢に入れて検討する。 ・放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の統合化について検討する。  (4) 求める効果 ・不足する指導員を確保でき、企業の柔軟な発想により、多様化するニーズに対応できる。 ・児童の居場所の確保も含めて新たなサービスが期待できる。 ・運営方法の幅を広げられる。 ・市民にわかりやすくなる

